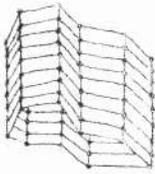


瑞雲

第 5 号

1969・4

直方鉄工青年会



所 感

四
第三代会長 飯 野 精 一 郎

無尽蔵の黒ダイヤを擁して永遠に栄えるかにみえた筑豊も、数年前までは哀れ梅花一朝の夢かと誰の目にも映っておりました。然しさすが伝統に培われた直方鉄工界は、地力が物を言ったのでしょう。ここ1・2年の間にすっかり正気を取りもどし、残業につぐ残業で、活気が張って来ました。お互い御同慶の至りです。

4年前の青年会結成時が一番苦しかった時でしたが、皆よく頑張ってきた。周囲の状況も大きく変転しつつあります。九州人の大悲願とも言うべき関門架橋及び九州縦貫高速道路は既に起工をみるに至り、そのインターチェンジは木屋瀬と若宮に決定され、直方も大きく浮かび上がってきています。中泉、明神池両団地も整備されました。直方市周辺の公共投資は、川原助役からお聞きした通り急速に改善されており、若者が躍るべき明日の舞台がけは、着々と完成しつつあります。立石電工、パロマ、九州陶器と超一流の企業も進出してきました。若手層の賃金上昇は、やがて目を見はるものがあるでしょう。これからの3年先が我々の勝負時と思っております。時はすでに明治百年、維新の志士の気概をもって愛する郷土直方を発展興隆させたいものです。

処でこの紙上をかりて日頃思っていることを二・三述べて、会員諸氏の批判を乞う

次第です。

(1) 金 融

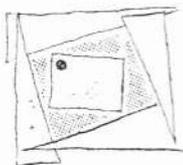
我々が最も不得手にするものの一つですが、企業発展の裏付けとして、好むと好まざるとに拘らずやらねばならない設備投資と、それに伴う運転資金の対策に抜かりはありませんか。春以来、金融引締の話に大分威されてきたが、その後輸出の好調で、景気は上昇に転じ、金融は緩和の傾向にあります。この時期を失せず、政府の金融機関を通じて、然も団体の力を活用して、低利、長期の資金を運用出来ないものでしょうか。5年間に2倍ずつ経済は成長しているのです。十分研究するに値する課題です。

(2) 話を聞く

毎日仕事に追われて落着いて勉強する暇もないこの頃ですが、現状の分析と今後の歩むべき方向を見誤らない為に、機会ある毎に見識ある方々のお話を拝聴して、経営者としての視野を広めていきたいと思えます。勿論、即効を期待するには無理なこともありましょ。実行しなければ無意味に感じるかもしれませんが、常に先達から適度の刺激を与えてもらうことは非常に大事なことで考えます。

(3) 心 友

太田前会長の口癖—「おれが」「お前が」の仲になろう。これは青年会の最も大きな目標である筈です。直方で育ち、朝晩鉄の匂いを嗅いで成長した鉄工人種です。労務、技術、営業など、あらゆる問題を持ち寄り、皆で智恵を出し合って考えましょ。更に進んで趣味を同じくし、竹馬の友の如き好ましい友人関係が生れたならば、本当に素晴らしいことですね。誰よりも青年会自身がどんなに喜んでくれることでしょう。



歴代理事長訪問⑤



第20代理事長

弘 貞 利 氏

今迄の理事長及び理事の方々もいろいろと御苦労されてきましたが、特に弘理事長になって、鉄工組合の新庁舎落成、最近問題化されている工業団地への集団移転の実現化、(現在中泉団地には飯野グループ、明神団地には吉田精機等5社が進出も決っている)各工場に於ける福祉施設の問題をいかに解決していくかということに対する積極的な行動、実にテキパキと活動されている理事長を御多忙中時間をいただいて訪問した。

今盛んに工業団地移転について、市の工業係、産炭地振興事業団等が勧めていますが、工業団地についての御意見を……

中泉あるいは明神団地に於いて組合を作り、その大元が現在の組合で、連合組合ということになるでしょう。この型式は個人で団地入る場合は、事業団からは次のような条件になっている。

◎ 産炭地振興事業団の場合

- (1) 個人 対称 土地、建物、設備は
20%頭金

利子 ~~6銭5厘~~ 6分5厘
融資 40%
償還 2年据置8年償還(据置も含め)
その他 団地内に限る。土地譲渡後2年以内に操業出来ること。

(2) 共同組合

対称 5社以上で共同組合を設立のこと。

利子 土地、~~6銭5厘~~ 6分5厘
家 無利子
融資 土地80% 頭金20%
家屋80%
償還 2年据置15年償還
(据置も含む)

条件 1棟に対し2社及び3社が入所すること。団地利用者に限る。

◎ 中小企業振興事業団の場合

(1) 工場集団化推進

対称 10企業以上
融資 6.5%
利子 ~~2銭2厘~~ 2分2厘

償還 3年据置15年償還(据置を含む)
場所は何れにても可

(2) 共同工場

対称 10企業以上
融資 80%
利子 無利子
償還 16年償還
1~3棟内に納まること。
場所は何れにても可

このような条件で、数企業が一語になつて団地に移転する場合は、今後もつとすっきりした形式(業種別に協業化集団化することが今後の使命と云える)になるでしょう。

次に福祉問題について非常に熱心に考えられているようですが、この点についてひとつひとつ御聞かせ下さいと云うと

従業員宿舍の設立で今からの若年労働者の求人難及び県外流出を防ぐ対策として、随分役立つのではなからうかと思ひ、各事業所の宿舍入所希望者の実態調査をやったのですが、これに協力してくれたのはごくわずかで、出鼻をくじかれた結果となりました。このことは、若い結婚適令期の従業員にとって、どれ程プラスになることだらうかと、今でも是非実現

させようと頑張っております。久留米では福祉協同組合でこの従業員住宅あるいは給食等随分スムーズに進行されているようです。又夜間工業学校の開校の件で「働きながら工業学校に行ける」というキャッチフレーズをもとに希望者を募つたのですが、これも従業員1人1人にまで通じ合ったのか、おそらく知らない人もいるだろうと思っています。現在のところ、希望者は約20名、このような数字ではなかなか実現の見通も暗いようです。あとひとつは金融の方では金利の引下げについても随分働きかけました。又銀行の枠を拡げることで随分駆廻り、かなりの実績が上がっていると思っております。各企業同士が御互いに手をつなぎ合い、協力し合つて倒産防止にも気を配り、これより数社が立ち直り、立派に運転されているのが現状です。

以上で弘理事長の訪問は終わりました。この2年間我々鉄工業者にとって、起伏の多かつた年でしたが、その鉄工組合をリードして行き、直方の鉄工業界がうまく回転して行つている今の姿は、理事長の功績が多かつたものと思います。



「機械工業都市直方」を育てよう

村 井 博

直方程めぐまれた都市も少ないのではなからうか。縄文時代から筑豊には人の住む良い条件が揃っていた事は、各所にある遺跡の通り、歴史が示しているのである。

石炭時代が過ぎたとは云え豊かな筑豊は未だ残っている。母なる川、父なる山の恵みをあまねく享けて数千年、盆地なるが故の野の実りと豊かな水、温暖な気候と更に風害も知らず、四季を告げる雪さえ豊かである。現在、北九州、宇部、鶴崎、等工業地帯を隣に控え、長崎を第一とした若松、関門等の造船界も隣家と云えよう。

だか現在置かれている直方の立場……基幹産業は一体何であろうか、「飯塚、田川、山田」筑豊全体の何れにも無い鉄工界ではなからうか。個々の事業所を見ると、あまり香しくないようであるが、数百万円もする高価な機械が数千台毎日稼業しているのである。もしこれ等の機械を一堂に集められたら素晴らしい大企業である。

「直方は大企業を持っている」と云えよう。

炭坑機械から脱皮する為随分泣かされたり、つらい目にもあったが、やっと芽が出て来たようである。

おそらく本年度の売上げ累計は、120億位ではなからうか。来年度は150億の売上げを見るであろう。

その為に新鋭機械設備には、無けなしの財布をはたいてでも真剣に取り組んでいるのである。技術も素晴らしいものを持っている故に、広島地区を始め全国から仕事が集って来るのである。

よく誘地企業と云う。だか大事な税金を数百万を費して引っ張って来た企業が、地元企業より貧弱であったり、職人の引抜き合いをしたりでは、あまりお粗末ではなからうか。低賃金労働力のみを目標にして企業は動いている。安い土地を良い条件に限り余力のある企業は動いてゆく。

だが本社経理ではやりきれないし、独立採算にしても、事業を始めて数年間は

到底無理であろう。

だが市当局の熱心な援助に依り、労務者は確保している。未だ良い条件の事業所が足下にあるにかかわらず、そこには学校の先生さえ眼を向けない。

これが現在の筑豊、否直方ではなからうか。万才で送り出した子供が、失望し帰って来て、初めて地元企業へ落着いているのが現状と云えよう。

誘致企業より地元企業の方が大事でなければならぬ筈だが、地元には、この土地は売れないとか、割り切れないものを数多く感じる。

だが誘致して来た企業は、地元企業同様大事にしなければなるまい。そして企業同志仲良くしなければ、大機械工業都市としての基盤整備はどうであろうか。計画は色々あろうが、まだまだと思われる。水、電力、交通網、生活環境何れを取り上げててもまだまだだ。

工業と農業が栄えれば、自ら商業も盛んになり、都市を形成出来るのは、自明の理である。商工会議所を商業が絶対多数では、鉄工所は事業主で無いのかと云い度いし、鉄工界の事業主も眼を開いて貰

い度い。商工会議所が市の産業の母体であり、推進体である筈だ。

「そして今にもくずれんとしている商工会議所を、如何なる犠牲を払ってでも建て直さなければならぬ。」

次に産業都市としての動脈である道路である。色々計画もあろうが、失対事業でどれだけ早く道路が出来てであろうか。ほこぼこはげてしまう道路なんて意味がない。

大きな計画を着実に実行しなければ、大動脈も完成しまい。200号バイパスが建設中なら、直にこれに呼応する対策を実行すべきではあるまいか。

勘六橋直線コースに彦山橋を掛け、現200号線の緩和を計る為、川東堤防を舗装すれば大した費用でなくて一つの動脈が完成する。又中泉団地と溝堀工場地帯と新町、尾崎工場群を結ぶ新橋掛け替えも早急にやって貰い度いものである。

それを延長して更に市内巡環道路も作らなければ、都市としての発展要素を固める事は出来まい。

駅前発溝堀、新町、尾崎、百合野団地、鴨田、裏新入、新入、新通町と楢円の道路が望ましいのではあるまいか。

頓野方面の大事な田や畑をつぶさなくとも、原野に近い山にも住宅が林立するのではないだろうか。

水は人間の体に例えれば静脈である。天然に恵まれた遠賀川に彦山川を持っていく直方が、何故その利用を怠るのであろうか。力丸ダムの水を北九州へ送り、お蔭で8000屯の水を取れたとは云え、まだまだ水は貴重である。工業力には水は付き物であり、その使用量は生活のパロメーターでもあるのだ。日本一高い水道料なんて威張れたものではない。

石炭答申も少々しくない現在、炭坑排水浄化費用に政府が金を出す位当り前であろう。そしてこれ位出し易い陳情書もあるまい。代議士も動き易いし、20億位は石炭対策費から見れば微々たる金額であろう。

遠賀川、彦山川がきれいになったら、水道の水も容易にとれるし、河川公園がすぐ実現するだろう。

中之島の芝生公園が名所にもなるだろう。市民のオアシスが直方の中央に出来るのだ。ある程度きれいになった水は、河川敷きプールも可能である。ポンプアップした川の水を簡易浄化設備でプール

に常時放流すれば、下流から取水の非難もあるまいし、動力費他少々の費用のみで運営出来るだろう。

オリンピックに出場する選手も直方から出るかも知れないし、溺れる子供もいなくなるだろう。

多賀神社裏の相撲場も何とかしなければ宝の持ちぐさである。子供用と高学年用の50米プール位出来よう。冬でもやれる温水プールも現在では可能である。又泳げる貯水池も良いのではなからうか。水泳禁止だらけでは第二の前畑、古橋は生まれまい。

次に職業訓練所であるが、我々がいくら訓練所の生徒を増員して欲しいと云っても、仲々実現しない。実現すれば地元に残る率も多くなるのだが、福岡県の税金で賄って育てた訓練生大多数が県外へ行く現実は割り切れないし、県の損であろう。1銭5厘と云う時代はあったが、今や人は宝である。

県が増員を認めなければ市が訓練所を持って悪いと云われまい。幸い市内に実習工場は山とある。実地半分、学習半分で育てたなら、2年位で立派な中堅

幹部工員が容易に得られるであろう。先生にはこと欠くまい。大学出の事業主が沢山いるし、たまに訓練所の先生も借れるだろうし、専門的になれば、技術工員もわんさといふ。直方技術研究所（福岡技術学校）とでも名付ければ、卒業生も肩身が広いのではあるまいか。卒業生は給料は取れるし、人手不足の手助にもなることである。一石二鳥ではあるまいか。

市条例も改正すべきではあるまいか。

誘致企業並みの恩恵が地元には与えられたら地元企業の発展はまだまだ早いだろう。300万以上の機械を買って、炭坑離職者を10名以上雇ったら固定資産税3年間免除なんて言う条例は今の時代おかしい話だ。

町の中の工場が狭まなくて田舎に移転する場合でも、造成団地移転に匹敵する位の土地代その他の貸与があっても良いと思われる。石炭と共にあった直方の特殊事情を訴えれば、亀井知事も町の美化にもつながることだし、あながち駄目だとは云わず、政府に働きかけてくれるのではあるまいか。

法律は国民のものであり、国民が作るものであることを忘れないで欲しい。

少くとも古くから居る地元企業に対する市条例を、地元優先と云う言葉のあることを考えて改正して欲しいものである。

以上所信の一端である。

本年度 出席皆勤表彰者 5名

高野 浦	篤
山 本 忠	志
堀 尾	斉
松 井	勇
石 橋	勲
	以上

2年連続出席皆勤者

山 本 忠 志
高野 浦 篤
以上

このお2人を見習って本年度は、全員出席皆勤されるようお願いいたします。

この好況の折、炭鉱閉山又北九州連鎖倒産などに関係されている人の為に、青年会積立貯金の利用法の話題が多く出ておりますので、今後ともなるべく多く出席して下さい。

愛 妻 論



A・TAKANOURA

「嫁さんもろてからの抱負”を書いてくれ」と青年部の連中に頼まれ、俺は少々困った。

別に嫁さんもらったからと言って、ジタバタすることけない。

今まで通り、いや今まで以上にフアイトをもってやるだけだ。

いろんな抱負、夢、無限にひろがる。だが現実はなかなかどうして厳しいものだ。

工場のオヤジは働きすぎる。そうしてもうからん。その割に苦勞が多い。

なんだか、ぐちめいたが……………。

今年の夏は何処かの国みたいに、一ヶ月間休暇をとろうか？日本の夏は蒸し暑い。ハワイの乾燥した土地にでもゆき、仕事もなにもかも忘れ、愛する妻と二人で、バカンスとシャレコミたいものだが、一年間の内、こんな月があってもよいような気もする。が皆さん如何かな？

Mオヤジ「そんな事してたら、マンマの
食いあげだ———」

S君「イイゾ イイゾ ヤローヤロー」

Z 「夢デモ ミチヨルカ、顔でも洗って

こい」

O 「そんな国があるトカ？へえ——」

暑い日中、汗と油になって働いて、終って水風呂にザンブと入り、キューと冷たいビールがのどを通過してゆく。

あの瞬間イイナー。

今年の夏もどこかの国のマネなどせず、あの瞬間に期待して——。

去年は皆さん方大分もうかったような気配だったが、今年はどうかな。

夢をいだき、抱負を背負い、現実をみつめ、今年の夏もバッチリヤロウゼ。



— さようなら「鉄工青年会」 —

— 青 年 の 仕 業 —



太 田 正 男

今日青年会の看板の一つになっている積立金は、3年前、例会の議題になった折、議論は沸騰した。「3年間は黙って積立よう」と云う提案説明に、私は「そんなアイマイな事で、積立金が続くものか、若い若い」と反対した。「やるものだけ、やろう」根葉さんの機に応じた発言で、是非論は了った。私が続かないと思った積立金は、はやくも第1期（3年間）は終り、第2期に発展的に継続されている。私は「集団の勢」をこの事に感じます。青年の行動性と団結を思い知らされました。正に青年の仕業だ。今後青年会は業界将来の問題にとりくまれると思います。積立金に示された熱意で立向って下さい。老眼鏡で力んでみてと思いますが、それでも私は「直方鉄工青年会」の皆さんについて行きたい。

— 本年度 新 入 会 員 紹 介 —

伊 藤 栄	—	伊藤工作所（29才）=二児のパパ 趣味 釣
春 田 勇	—	春田熔接所（30才）=二児のパパ 趣味 釣

以上二人です。皆さん宜しくお願いします。



「あなたは今安全運転をしていますか」



今のような交通戦争の中で、我々は如何に生きていったら良いのか。道を歩いていれば車に跳ねられ、ハンドルを握れば追突されてむちうち症、寝ていたら車が飛び込む。いったいどうしたら良いのだろう。

そこで我々はこのような不意の事故から多少でも避けられないものだろうかと。まず運転者と歩行者、運転者にしろ歩行者にしろ、急に進路あるいはスピードを変えることは非常に危険だ。我々は必ず相手の次の行動を予測して、相対的に自分が動く。それには、運転者、あるいは運転者と歩行者のお互いの気持が通じ合わねばならない。相手の目を見て、進路を譲ってもらったら、ちょっと会釈するとお互いに実に気持の良いものだ。このように相手の気持を把握することが大切である。

次に運転しない者にはあまりわからないと思うが、我々が運転していて、特に雨の夜等歩行者に対して死角がある。対向車のヘッドライトによって横断しようとしてセンターラインで待っている人、ある

いは左側を通っている人、が自分の目の前になる逆見えなことがある。このように危険な場合があることを歩行者も充分に気をつけていなくてはなるまい。自分が居るということを運転主に知らせる為、カサに夜光塗料を塗るのも一案だと思ふ。

次に運転者が充分気をつけなければならぬことは、追突されてむちうち症の被害を如何に防ぐか、バックミラーにより後続車の確認、その為にはいつもバックミラーの向きを正しくまたきれいにしておかねばなるまい。そりすることにより追突されても被害を最少にくいとめることができる。自分の車を相手に認識してもらい為に、夕方等早目にライトをつけるのも安全運転のひとつ、ダブル車輪のトラックが、車輪の間に石を挟んでいる時は尾行しないこと。石が飛んでフロントガラスを割った例もある。我々が路上を運転する時、いろいろなドライバーテクニック、ドライバーエチケットがあるが要は「安全で他人に迷惑をかけないような運転」に集約される。(S.L生)

お わ び

今回の発行が遅れ内容に時期を逸したところがあることを、出版に協力していただいた方々及び会員の皆様にお詫び申し上げます。

瑞 雲 第5号

昭和44年4月5日発行

福岡県直方市殿町4の19
(発行所) 直方鉄工青年会
電話 直方② 8241番

(編集) 伊 藤 清 治
福 山 盛 樹
山 本 忠 志

直方市古町8の22
(印刷所) 高島プリント社
電話 直方② 1290番